

A photograph of a city street at night during a rainstorm. The scene is viewed through a window with raindrops on the glass. In the foreground, several silhouettes of pedestrians are walking across a crosswalk, some holding umbrellas. The street is wet and reflects the lights from buildings and cars. In the background, tall buildings line the street, with some windows illuminated from within. The overall atmosphere is dark and moody, with a blue color palette.

SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Jun.2025

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

昨今メディアでも毎日のように報道されている「令和の米騒動」は、物価高や物流の混乱を背景に、米の品薄や価格上昇への不安が一部で過熱した現象である。実際には米の供給量に大きな問題はなかったが、不確かな情報が拡散され、買い占めや不安の連鎖を招いた。これは情報社会における「不安の伝播」が社会不安を引き起こす新たなリスクであることを示しているのだろう。

こうした中で注目されたのが小泉進次郎農相の発言だったが、具体性を欠く言葉ばかりが独り歩きし、国民の不安払拭にはつながらず、結果として政策的な貢献の薄さが浮き彫りとなっている。今後の対策としては、政府や自治体が迅速かつ正確な情報発信を行い、生活者の安心を支える体制が求められまた、流通・備蓄システムの強化や、デマ対策としてのメディアリテラシー教育の推進も急務であると考えます。今回の問題は、信頼と情報が社会の安定を守る鍵であることを教えてくれたと良い機会だと思ふ。

サンシン電気株式会社
取締役 河原 崇

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

今年の梅雨は「メリハリ型」。降る時は警報級の大雨となり、梅雨の晴れ間は猛暑続出で危険な暑さに。今週は、「大雨」のち再び「猛暑」に警戒が必要です...だそう。今年の梅雨は全国的に短いようで、梅雨明けもかなり早いと予想されています。そして、今年の夏も暑い！という事です。全国的に平年より高くなるようで、いったい何度まで上がるのか、体調にはくれぐれもご注意を。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

最近、中国のある町では、海上風力発電場と漁業養殖が結合している。「明漁1号」というAI設備が海上風力発電場で大量の魚類の捕獲に成功し、漁電融合の巨大な潜在力を示した。このモデルは海域資源を十分に利用し、漁民に増収ルートを提供し、化石エネルギーの使用を減らし、漁業養殖に環境保護のエネルギー支援を提供し、他の地域の海域資源利用に参考を提供した。(P.L.)

CSI

セブの季節 雨期は6月～10月・乾期は11月～5月になります。今は雨期になり、雨が良く降ります。以前(2004年)から思っている事なのですが、雨が降るとインターネットが遅くなりますので、打ち合せの日は雨が降らない様に願っています。(K.S.)

SANSHINWest

関西万博開幕から2か月が経過しました。注目を集めている一方でパビリオン混雑やシステムの使い辛さ、案内表示のわかりにくさ、情報発信の不足など運営面での問題が多数指摘されています。最近では会場内での水質汚染問題が報道され、自然環境への配慮を掲げる万博の理念とのギャップが注目を集めています。処理設備の整備が追いつかず、雨天時に濁水や下水が流出したとされるケースもあり「自然との共生」を実現する難しさが浮き彫りになりました。ユスリカの大量発生問題も薬剤などによる駆除に慎重な姿勢が見られますが「そもそも立地的に虫が多いのは最初からわかってたことやん？」とツツコミかありません。これから夏休みシーズンに入り来場者数の増加が予想されます。今後は来場者の満足度と安全の両立を目指し、運営面の改善を一刻も早く進めていただきたいところです。(N.K.)

SHINKOWA

6月で梅雨入りしたのですが、最高気温が35℃を超えるところもあり、真夏のような暑さになっています。熱中症対策をしっかりとって過ごしましょう。今年はいつまでこの暑さが続くのか心配ですが、暑すぎるのもまた、食・住に影響が出ますので覚悟をしなければなりません。お米・野菜・魚・肉や電気・燃料等割高になっていくと思われれます。(M.N.)

SC2

【やりすぎ◎◎伝説】最近、ホテルや空港など公共性の高い場所で強い香りが使われる企画を見かけます。香りがなくて困る人はいませんが、香りがあるために困る人はいます。それは本当に必要なサービスなのか？考える人が少ないのは残念なことです。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

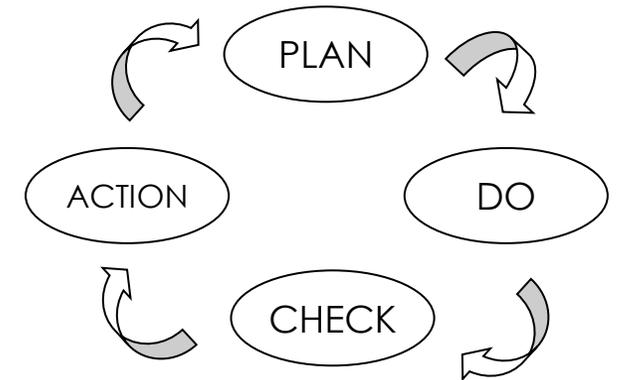
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/隔月)
- 定期監査の実施。(1回/1年程度)

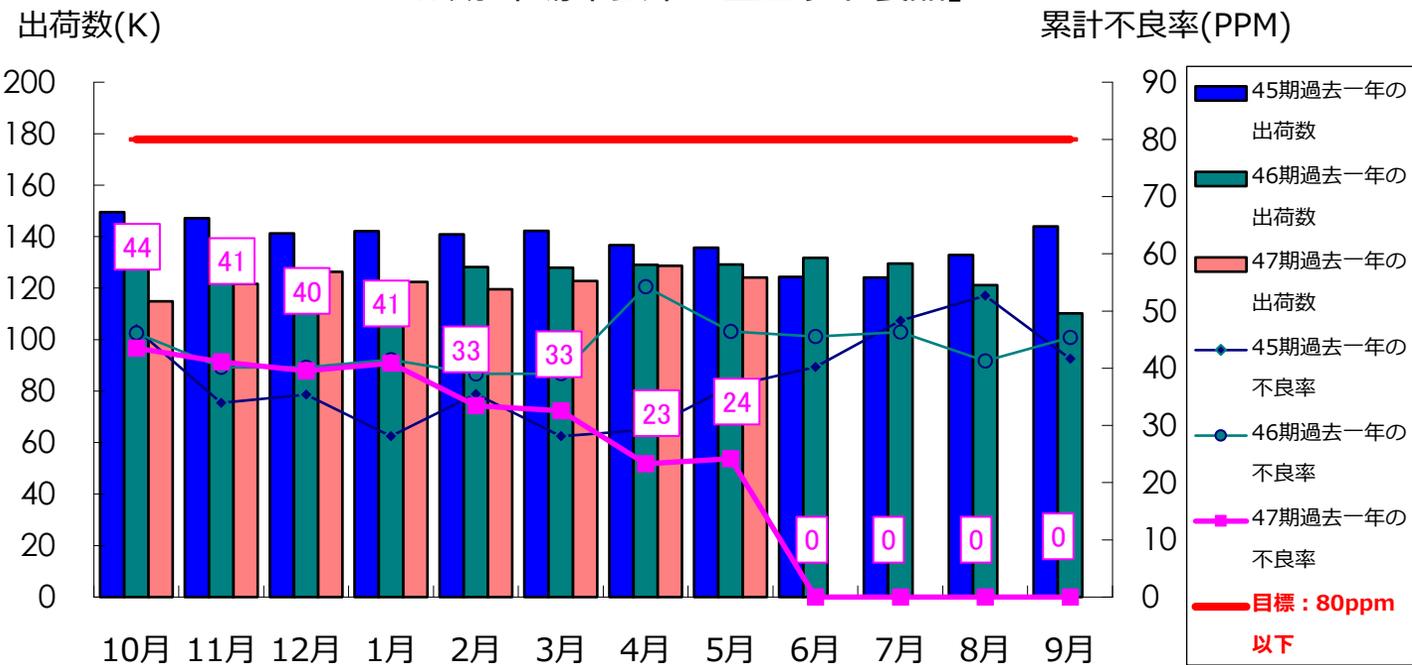
* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

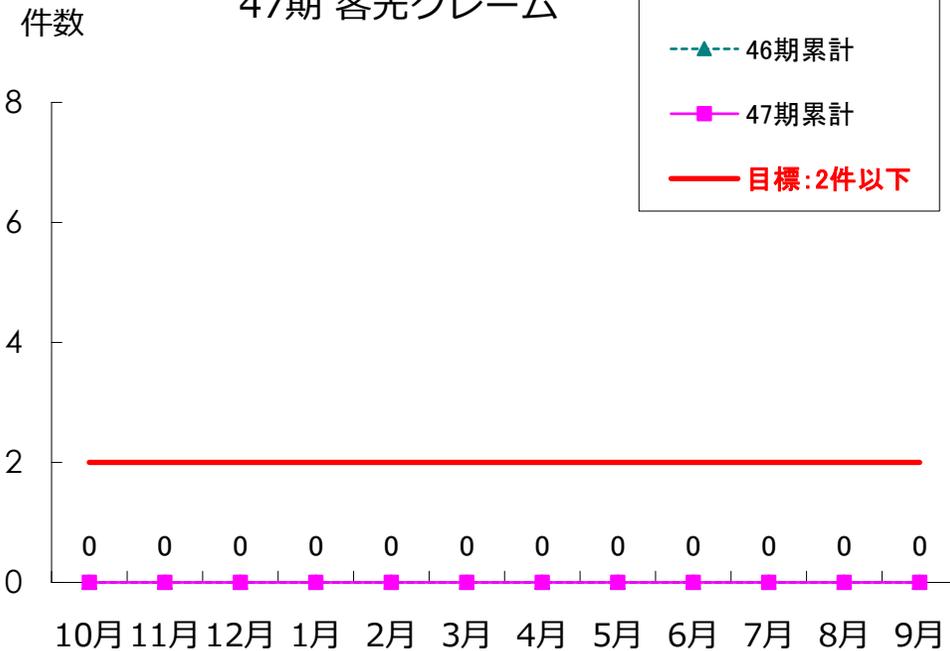
納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 47期の累計不良率(解析依頼含む) : 24ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

47期 市場不良率「ユニット製品」



47期 客先クレーム



ESG Report (環境)

TOPICS

□ 魚を食べる国々の変化と気候変動による水産資源への影響

1. 世界の魚食事情：最も魚を食べる国はどこか？

魚介類は世界中で重要なタンパク源とされており、特にアジア地域では日常的に消費されています。中でも日本、アイスランド、ポルトガル、韓国などが「魚をよく食べる国」として知られています。

■ 魚の年間消費量（1人あたり上位10カ国）

順位	国名	年間消費量 (kg/人)	備考
1	モルディブ	約90~92kg	島国で魚が主食。主にマグロ類。
2	アイスランド	約80~85kg	タラなどの白身魚が中心。輸出国でもある。
3	ポルトガル	約60kg	欧州で最も魚を食べる国。伝統的な干物文化あり。
4	韓国	約58kg	キムチと並び、魚介の消費が多い。
5	日本	約50~55kg	かつて世界トップ。現在も高水準を維持。
6	ノルウェー	約50kg	養殖サーモン大国。国内消費も多い。
7	スペイン	約45~50kg	地中海料理で魚介が豊富に使われる。
8	マレーシア	約45kg	熱帯魚介類と淡水魚の消費が多い。
9	フランス	約35~40kg	健康志向から魚介を取り入れる文化。
10	ベトナム	約35kg	川魚や海産物を多用した料理が日常的。

The State of World Fisheries and Aquaculture 2022 (SOFIA 2022)

かつては日本が世界有数の魚食国でしたが、近年は肉類の消費増加などの影響もあり、若干減少傾向にあります。一方、ポルトガルなど欧州諸国では依然として高い魚介類の消費が見られます。

TOPICS

2. 魚を食べるようになった国々：世界的な魚食の拡大

これまで魚介類の消費は主にアジアや地中海沿岸諸国で盛んでしたが、近年では中南米、アフリカ、東欧諸国などでも魚の消費が着実に増加しています。

■主な変化の見られる国・地域

- ・ブラジル・メキシコ：経済成長と健康志向の高まりにより、魚介類が中産階級の食卓に上がる機会が増加。
- ・ナイジェリア・ケニア：都市化とともに魚の消費が増え、内陸部でも冷凍魚の流通が拡大。
- ・ポーランド・チェコ：健康志向の高まりと欧州連合の栄養ガイドラインの影響で、肉中心から魚中心のメニューへ変化。
- ・中国・インド：既に魚食文化は存在したが、所得の向上と流通網の整備により、魚介類の多様化と高級化が進行。

こうした動きは、食文化の西洋化・多様化に逆行するように、「健康」や「サステナブル」を軸にした魚食回帰として注目されています。

TOPICS

3. 気候変動による水産資源への主な影響

気候変動は、魚そのものの生息環境や再生産サイクルに大きな打撃を与えています。主な影響は以下の通りです。

■ 海水温の上昇

魚種によって適温があるため、高緯度への移動が起きています。サバ・サンマ・マグロなどが赤道から離れ、漁場が変動。その結果、これまで魚に恵まれていた国が漁獲量減少に直面し、一方で新たに漁獲が可能になった国も出現。

■ 海洋酸性化と生態系への影響

海中のCO₂濃度増加により貝類・甲殻類の殻が作れなくなる、魚の繁殖にも悪影響。特に、プランクトンの減少が食物連鎖全体に波及し、漁獲の安定性を脅かす。

■ 極端気象による漁業の不安定化 熱帯低気圧や豪雨による漁港・流通インフラの被害が深刻化。一部地域では操業期間の短縮や中止も発生しており、経済的打撃に。

TOPICS

4. 魚を食べる国々の食生活に起きている変化

気候変動により、水産資源の確保と消費のあり方にも大きな変化が見られます。

■魚の「種類」が変わってきている

伝統的な魚（例：日本のサンマ、韓国のイシモチなど）の漁獲量減少・価格高騰により、代替魚（アジや輸入サーモンなど）の消費が増加。一部では養殖魚の比率が過半数を超えるまでに成長（例：中国、ノルウェーなど）。

■食文化への影響

魚を焼く／煮るから、生食・加工食への移行が進行。例：欧州で寿司・刺身の人気が拡大し、逆に南米では揚げ物やスモークなどの加工スタイルが普及。魚の価格高騰により、家庭の食卓から魚が遠のく傾向も一部にあり、「週に1回の魚」という意識が根付いている地域も。

■サステナブル・シーフードの浸透

特に欧州や北米では、「持続可能な漁業」で取られた魚のみを選ぶ消費者が増加。それに伴い、MSC認証やASC認証などのラベル表示が一般化しつつある。

魚を多く食べる国々は、気候変動というグローバルな環境変化の中で、新たな食材選択や調理法、文化的変容を受け入れながら魚食文化を継続しようとしています。魚という身近な食材を通じて、気候変動の影響やサステナブルな未来について考えることが、これからの時代にはますます求められています。

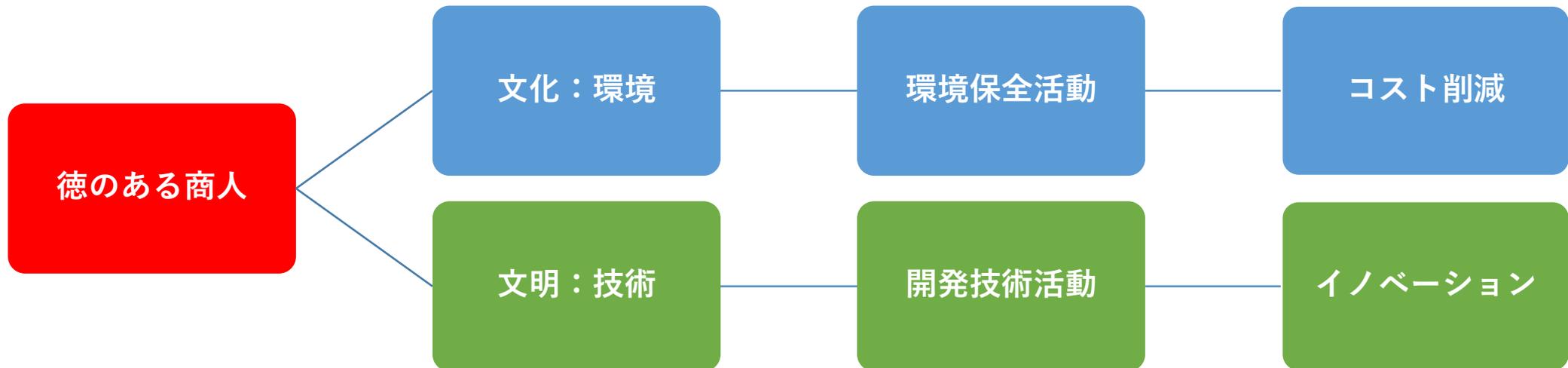
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

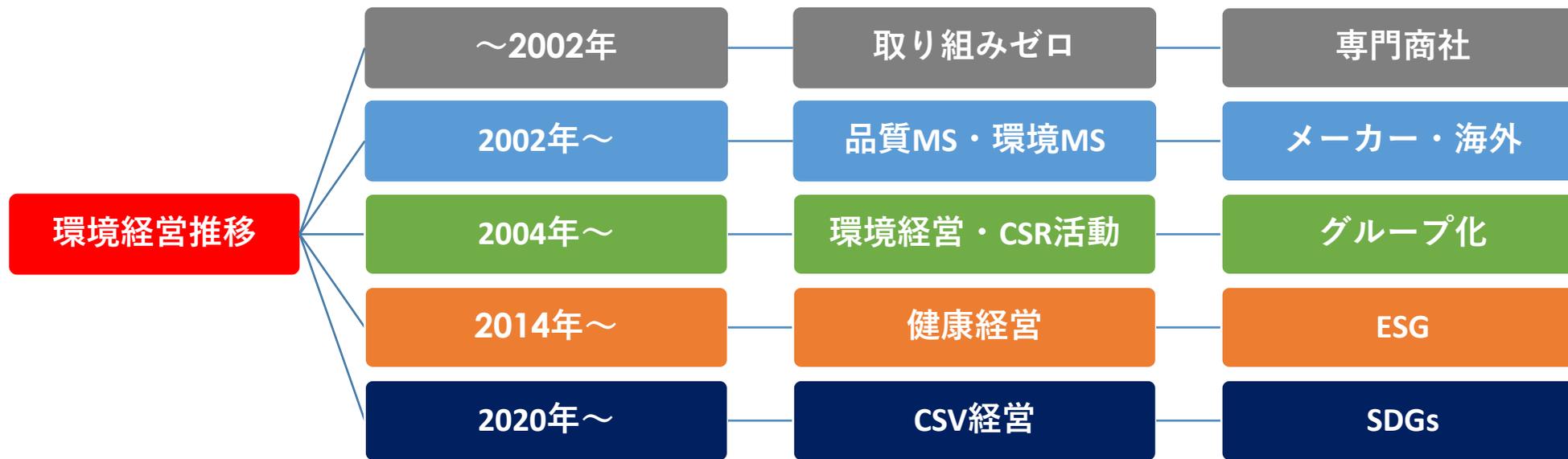
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

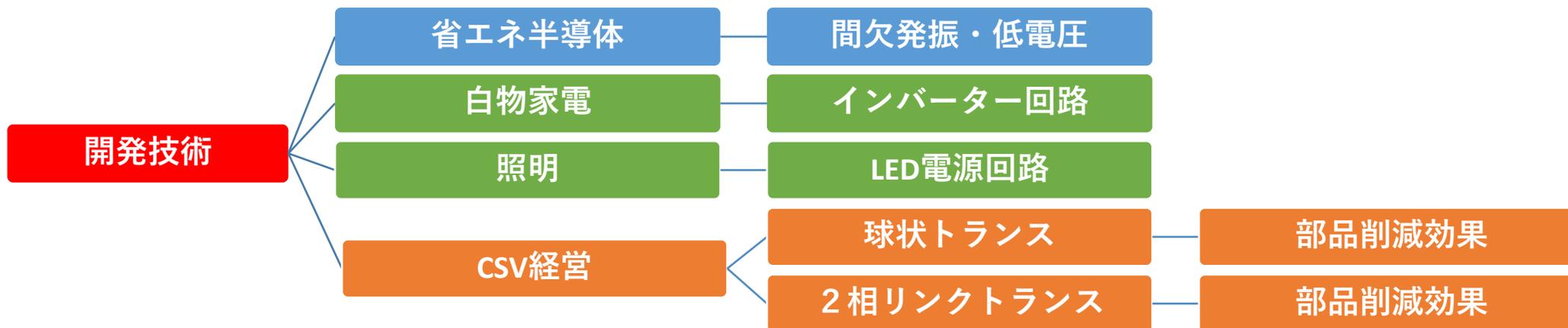
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



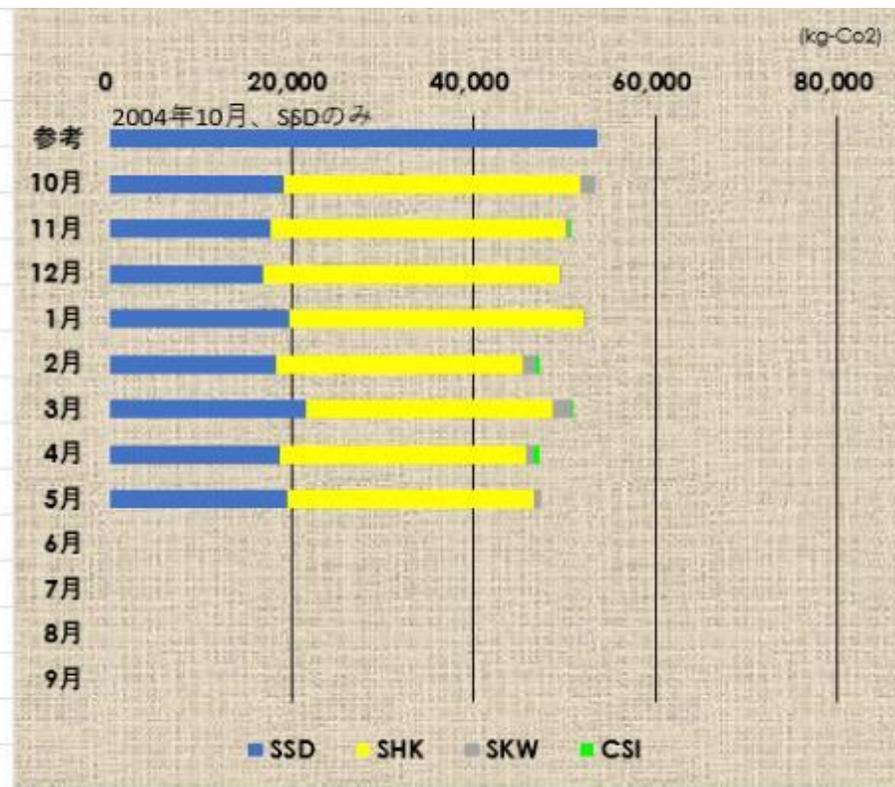
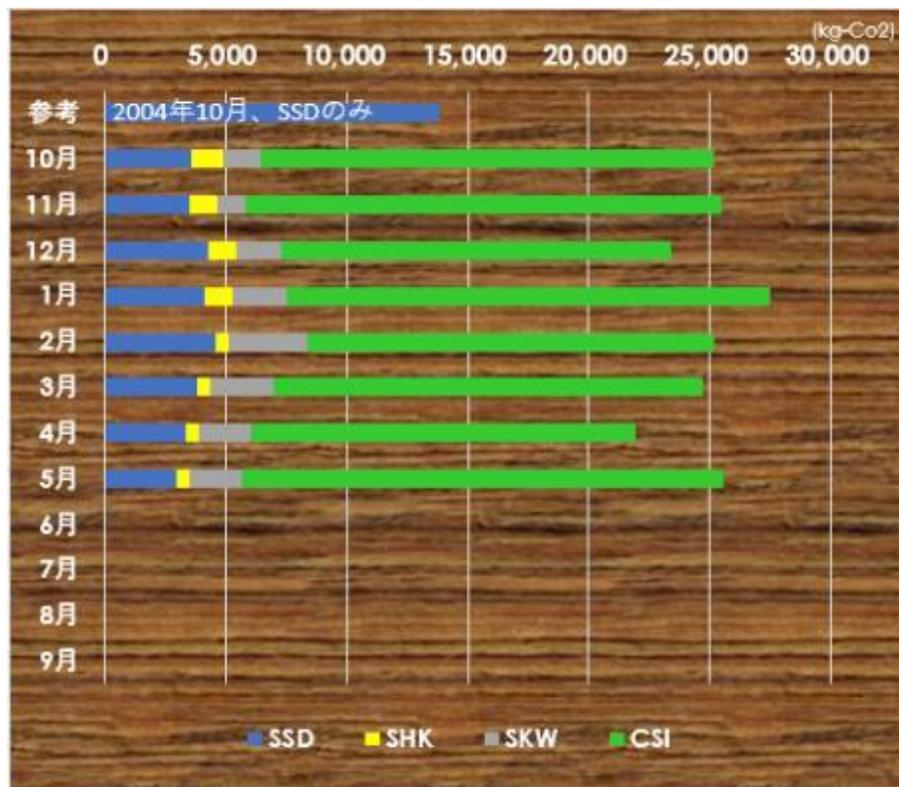
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

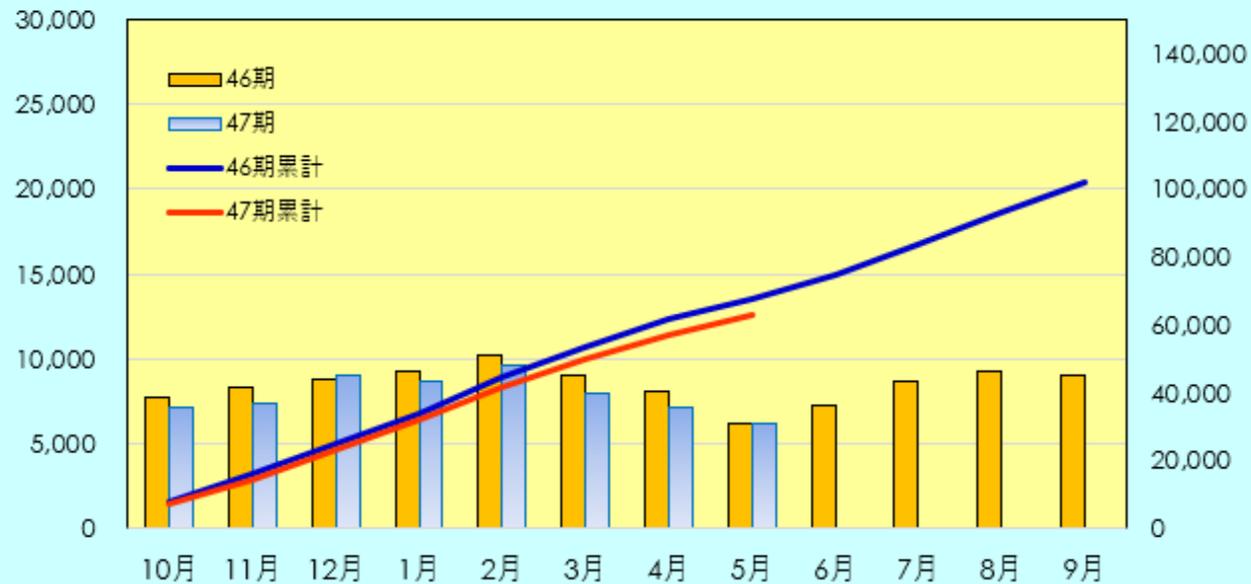
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

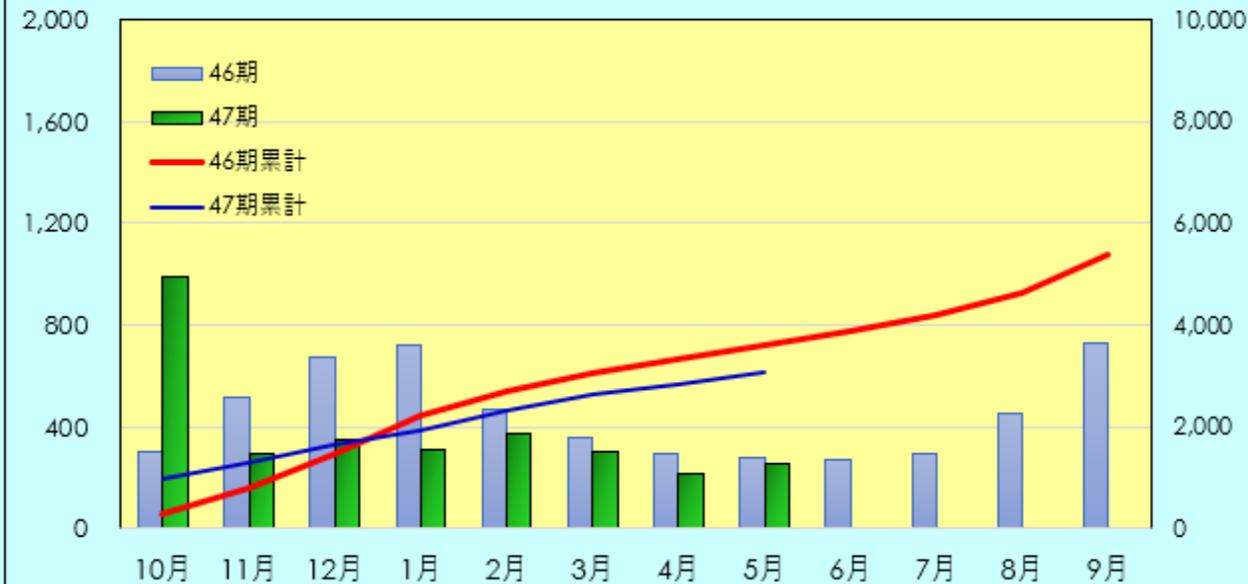
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

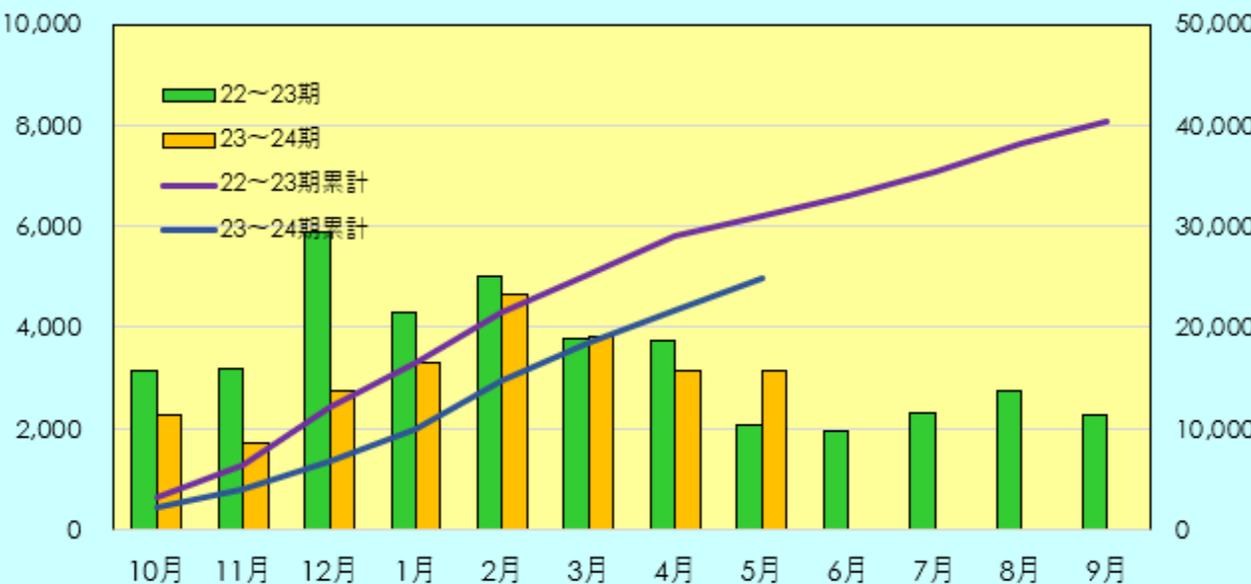
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●サンシングループのERMリスク対応方針について

国際紛争や戦争のリスクが高まる中、サンシングループでは、各国拠点に影響を及ぼす有事が発生した際に迅速に対応できるよう、あらかじめ方針を定めております。

また、国内の自然災害リスクに対しても、有事が発生した際に迅速に対応できるよう、あらかじめ方針を定めております。

事業継続計画（BCP）を万全に整備し、社員の安全を守るとともに、供給責任を果たすべく、グループ全体で意識を高め、備えてまいります。

- ▶ 国際紛争・戦争におけるERMリスク対応方針
- ▶ 国内災害におけるERMリスク対応方針

活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（5月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

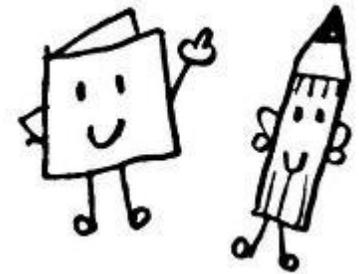


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2024年5月更新）⇒8年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ EIGYOプログラムによる育成制度を整備しスキルアップを支援
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA/MOT取得や資格取得を積極的に支援
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検、QC検定等の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



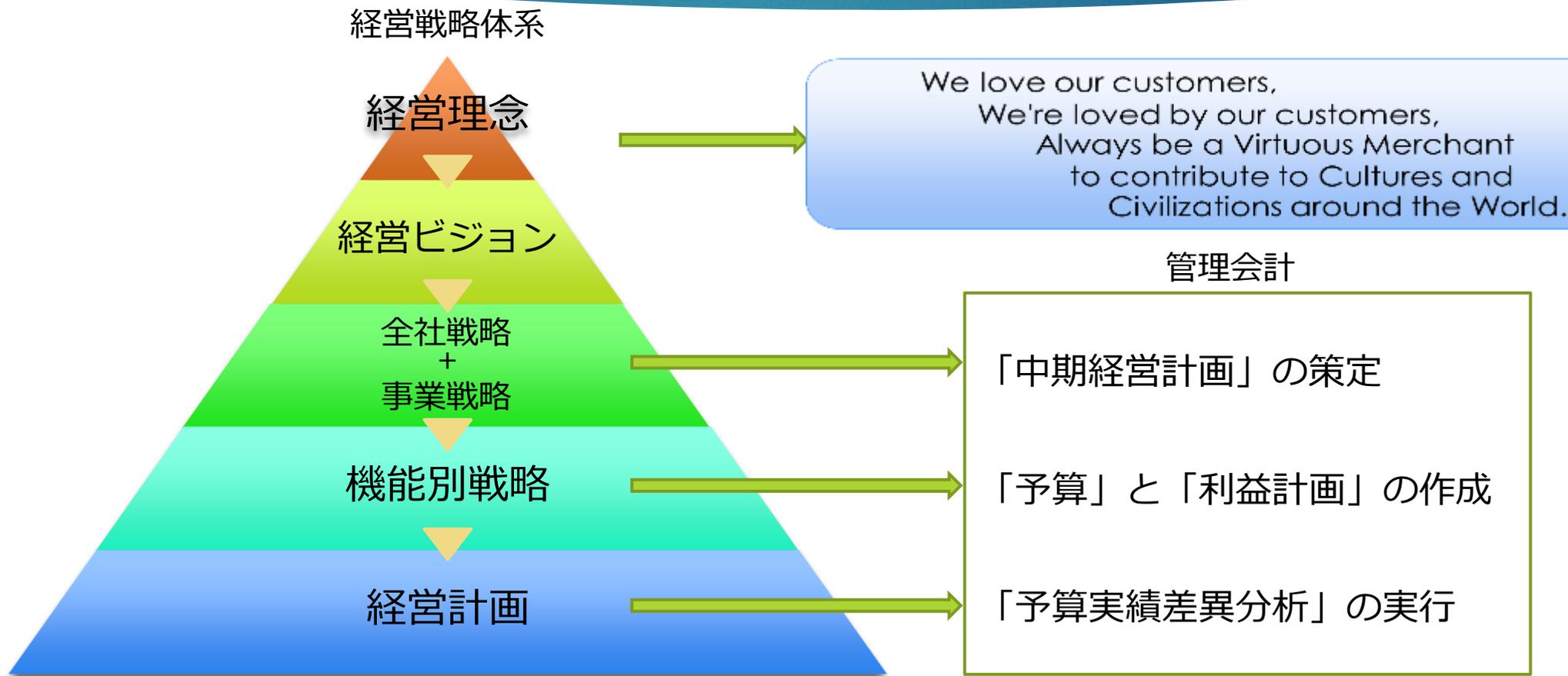
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

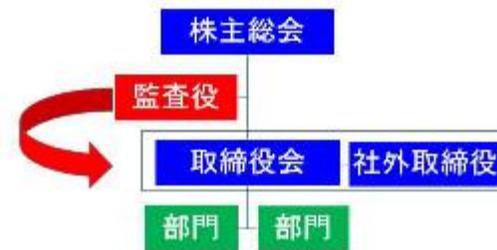
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

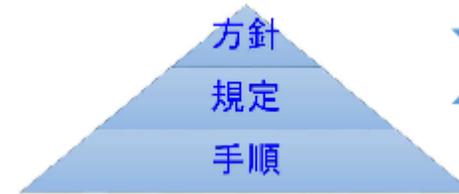
■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

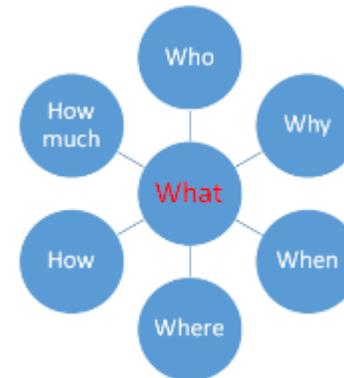


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



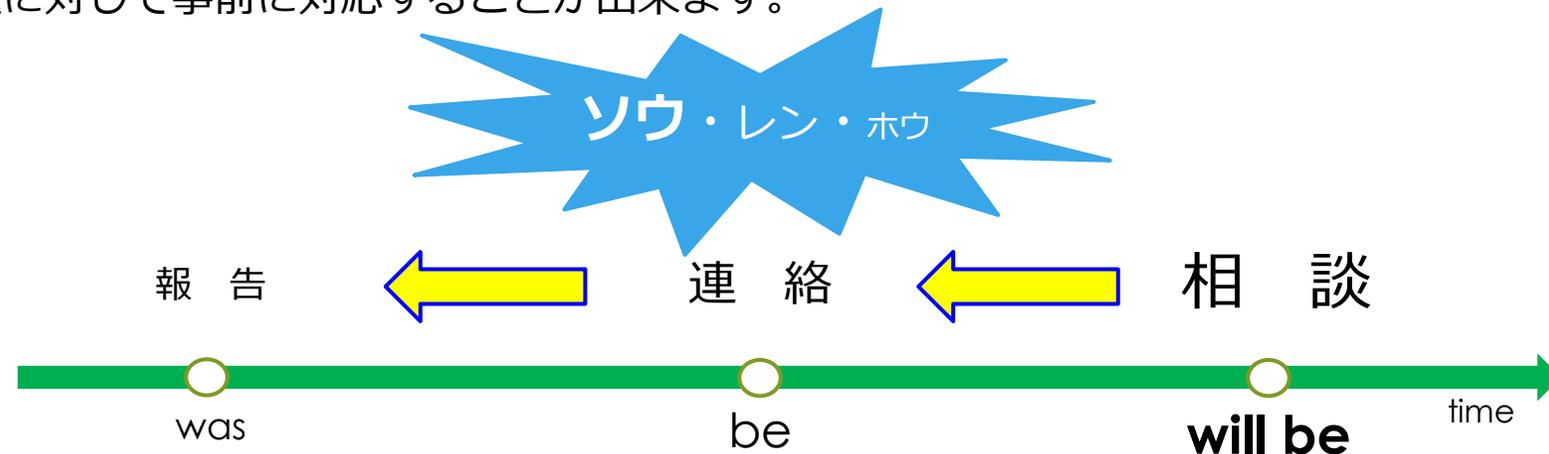
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

今年の夏は全国的に暑くなるのだそうです。ただでさえ暑いのに、今年は平年より暑くなるという事で、それはもはや熱いということなんでしょうか。熱中症の兆しとしてはめまいや頭痛はもちろんのこと、あくびが頻発したりもするそうです。少しでも違和感を感じたら無理せず水分補給と休息を。